

# 芙蓉

vol. 69  
2020.7月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地  
TEL (0545) 55-1118 FAX (0545) 55-1119  
<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
企業主導型保育施設	さくら保育園	TEL.0545-55-1118
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
看護小規模多機能	みぎわの里	TEL.0545-30-7952

# 「日本再生ウイズコロナ」

社会福祉法人芙蓉会 評議員 濱田 隆彦

本年1月早々に新型コロナウイルス問題が発生し、世界中がその対策に追われてこの半年が過ぎてしまいました。今回のコロナ対応で日本の抱える課題が色々と露わになったと感じます。バブル崩壊、リーマン危機、東日本大震災等の危機を経ても変わっていない縦割り行政の論理、前例踏襲主義、デジタル化の遅れ、それによる各種助成金の給付の大幅な遅れ、現状のオンライン行政のお粗末な実態等が次々と明らかになりました。欧米は先ずお金を配り、事後に不正をただすスピード重視の発想との事です。もたつくうちに日本の雇用環境は急速に悪化し、失業予備軍とも言える休業者は、4月には過去最大に達したとの事です。今回のコロナウイルス対策の過程でより見えてきた事に、現在の政権の在り様の是非があります。官邸主導型の行き過ぎ、それにより人事権を握られた官僚の萎縮が進み、多様な意見が上がりにくくなっているとの事。付度、事なかれ主義がはびこっているように思われます。アベノマスクの不良品問題、その配布の大幅な遅れ。9月入学制の導入検討のふらつき。巨大な官僚機構に頼るだけでは変化の激しい時代に対応できません。オンライン診療・教育などでのデジタル化への遅れをどう取り戻すか。又、高度経済成長期のような日本企業の強さは無くなったと言われて久しく、長年にわたり労働生産性の低下が言われています。年功序列型賃金から職能給、職務給への転換等ビジネスモデルの転換もなかなか進みません。世

界的なサプライチェーン、製造業を最大とする産業構造の結果、この1~3月期の企業損益減少率は世界各国の中で日本企業が最も大きかったとの事です。一方で、感染の「3密」を避けるために始まったテレワーク、在宅勤務の有用性が認識されて、通勤地獄の解消、都市集中から地方への移住の可能性が言われています。日常生活の在り様の大転換に繋がる事です。有効なワクチンの開発、検査体制の確立等々いつまで掛かるか分かりませんが、明治以来152年掛けて出来上がった現在の日本文明の大転換に繋がる大チャンスではと思います。「日本再生ウイズコロナ」です。それを推進出来るのは言うまでもなく国民、政治、日本政府です。しかし、先述の様な課題が有ります。より良い政治を目指すには、政権交代のある政界、緊張感のある政治が必要です。それに一市民が出来る事は、選挙に行き、投票率を上げ、有用な議員を大勢当選させることです。国民の参加抜きには出来ません。他方、日本社会の育児力が脆弱となっていると思われる様なニュースが増え、ベビーブーマー第二世代が高齢者となって来る中で、社会福祉法人は、益々貴重な存在です。芙蓉会の運営につきましても、コロナ対策が加わって一層ご多忙の事と思いますが、社会福祉法人としての育児、介護の在り様についても、今後のニューノーマル、デジタル化の取り入れにより、より良い展望が開けてくるのではと推察致します。関係者各位のご活躍を祈念いたします。

## \*デイサービスセンターみぎわ園\*

### じゃがいも収穫と ミックスリーフ種まき

丹精込めて育ててきたじゃがいも。  
たくさん収穫  
できました!



やった~  
いっぱい取れたわ



### 梅ジュース仕込み

今年もこの季節が  
やってきました!  
役割分担して仕込み  
ました。



今年も美味しく  
出来ましたよ

### スナックみぎわ

デイフロア全体を電飾や  
レトロポスターで飾り、お酒  
を並べてカウンター風に演出。  
ノンアルコールビールに  
ご満悦のお二人♪



おつとつと、  
たくさん入れてわ

## \*ふようデイサービスセンター\*

### \*甘味・・・\*

季節のお菓子作りとして、  
ぼた餅とかしわ餅を作りました☆

皆様甘いものが大好き♪  
自分で作ると一層美味しく  
感じますよね？



### \*梅干作り・・・\*

恒例となりました自家製梅干(^^)

今年もいい梅が入りましたよ～!

一つ一つヘタを取って、しっかりと水気を切っています。  
今から出来上がりが楽しみです!おいしくなれ!



### 宣誓



### \*運動会・・・\*

紅白に分かれ、チーム一丸となり頑張りました!!  
チームリーダーの選手宣誓がとてもしっかり  
よかったです◎  
また来年も楽しみましょう!



## \*みぎりの里\*

### 青空五平餅



### 母の日・ティラミス作り

『ハッピーエミ楽団』(ご家族)による  
アコーディオン演奏&歌の鑑賞会で  
たくさん歌いました♪

地域の方を対象とした毎年恒例『味噌  
作り教室』が今年も開催されました!



桜を見ながらの青空  
五平餅作り、母の日の  
ティラミス作りなど、自  
粛期間中も、皆さんと  
楽しく過ごしています。



### 桜餅作り

### 炊き込みご飯作り



## \*みぎり園\*

子供の日に向けて  
4月末、柏餅作りを行  
いました。抹茶ゼリーを  
葉に見立てた柏餅を皆様  
笑顔で召し上がっていま  
した。



5月下旬にみんなでフルーツサンド  
を作りました。生クリームと4種類の  
果物を挟み、甘～い甘～いおいしい  
サンドを食べました。



# \*ひまわり園\*



## さくら



今年はコロナウイルスの影響で園内にてパトベキューをしました。高校生が焼いてくれました。とっても美味しかったです。

## りんどう



りんどうのお部屋では季節ごとに壁面を作っています。子どもたちが主体となり、何を作るか、誰がどれを作るか、決めていきます。全員で楽しく作りました。

## かえで



なかなか外出に行けないなか、昼食にお弁当が出た時、外でピクニックごっこをしながら食べました。他にもお部屋でうどんやアイスなど作って過ごしました。

## けやき



たくさんの絵本の寄付を頂きました。音が出る絵本や仕掛け絵本など、子どもたちは夢中になって読んでいました。

## 銀河



コロナウイルス感染拡大防止で学校は休校で長い休みに。中学生の課題の一つで、『お弁当』作りがあり、自分で考え、作りました。



## 大地



自粛期間で外出もできない為、お部屋で駄菓子屋さんごっこをしました。お金の計算のお勉強にもなり、自分で考え、思い思いに買い物を楽しみました。

## ○ 寄付・慰問 ○

コロナウイルスの影響でマスクが不足している中、沢山の方々からマスクの寄付を頂きました。また、学校が休校中で、外出を控える子どもたちの為に、クレープの提供、絵本の寄付、入所児童の保護者様から玩具の寄付等、皆様のおかげで子どもたち、職員を含め、自粛期間中、体調を崩すことなく元気に過ごすことができました。フレーベル館様、入所児童の保護者様、ORANGEPOT様、コメダ珈琲様、ひまわり園OBの皆様、松の実保育園様、佐野総業様、納得住宅工房様、小林クリエイト様、静岡仮設様ありがとうございました!!



## \*みどり園\*

### 〈お楽しみ会〉 4月

桜の木の製作をしました。のりやシールを使って、みんなそれぞれ素敵な桜の木ができました。

お昼ご飯は、子ども達が自分でお弁当箱におにぎりと具材を詰めました。

園庭の大きな桜の木の下にレジャーシートを敷いて、お花見をしながら食べました。外で食べるお弁当はとっても美味しかったね!



### 〈お楽しみ会〉 5月

こいのぼりの製作をしました。シールを貼ったり、クレヨンでお絵描きをしてこいのぼりを作りました。素敵なこいのぼりが出来たね!

お昼ご飯は、こいのぼりの三色丼でした。「コイノボリ!!」とみんな嬉しそうに食べていました。



### 〈お楽しみ会〉 6月

歯の衛生週間にちなんだ製作・遊びをしました。カバさんの口に食べ物のシールを貼ったり、壁に貼られた動物の歯をみんなで歯磨きしたりしました。

みんな一生懸命磨いたので、とっても綺麗になりました!

お昼ご飯は梅雨の時期ということで、カエルのパンやカタツムリのソーセージでした。

しっかり歯を磨いて、たくさん美味しい物を食べようね!!



## \*ひろみ\*

ひろみでは誕生日のお祝いに、職員と子どもが手作りした誕生日カードを渡す文化があります。年々クオリティーがあがっていき、最近では点描画にするなど、手の込んだ誕生日カードを作っています。



## 「自分を愛するように隣人を愛しなさい」

### 【法人本部】

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は116年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。令和元年度は、故戸巻俊一氏の後を継ぎ社会福祉法人芙蓉会理事長として尽力されて参りました戸巻芙美夫氏が、平成31年3月31日付けにて理事長職を辞任され、同年4月1日付で新たに内藤好彦が理事長に就任、同年6月19日付けにて戸巻芙美夫氏は、顧問に就任されました。また60年の永きに渡り社会福祉事業にご尽力され、全国乳児院協議会会長等を歴任してこられました内藤順敬相談役(前恩賜記念みどり園の園長)が令和元年12月17日に永眠されました。

法人の多様な就労形態に対応する就業環境(仕事と子育ての両立)を整え、職員の雇用の安定を図ることを目的に令和2年3月企業主導型保育事業「さくら保育園」を開設しました。

最後に、職場におけるハラスメントは、法人にとって職場の秩序や業務の遂行を阻害し社会的評価に影響を与える問題と捉え、顧問弁護士を講師に招き「ハラスメントの予防を考える」をテーマに研修を開催いたしました。更に昨年に続き外部講師(坂倉裕子氏)による新任職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」と新たに中堅職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び施設運営基盤の強化と職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供することができました。

### 【児童養護施設 ひまわり園】

令和元年度は本体施設定員75名に対して、暫定定員69名で事業を開始しました。実人員としては、月平均48.2名(男子23.3名 女子24.8名)で充足率は64.2%でした。ひろみ(定員6名)は年間を通して女子4名でした。「新しい社会的養育ビジョン」では親子分離は最終手段であり、分離後も里親委託を中心とした「家庭養育」を推進し、施設は「家庭的養育」として小規模化、地域分散化を展開するよう求められているため、県内の児童養護施設は定員割れしている施設がほとんどです。ひまわり園のような大きな建物を有している施設は児童数の減少に伴う事業費の減収により運営が難しくなっており、既存の建物の維持管理や今後の用途など大きな課題を抱えています。地域小規模児童養護施設ひろみに関しては、元年度に高校生2名をひまわり園から移しました。両名とも大きな集団生活より刺激が少ない小規模施設の方が適しているであろうという判断で移動しました。部屋数が少ない中で高校生に個室を提供したため、受入可能な年齢が低学年に限定されることになり、本来は5名以上を確保しなければならぬところ年間を通して4名の児童での運営になってしまいました。老朽化も著しいため改築を検討することになります。

### 【地域小規模児童養護施設ひろみ】(ひまわり園加算事業)

2019年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:2019年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

2019年度は、中学生2名、高校生2名でのスタートとなりました。ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。

本園から移行してきました高校生2名につきましては、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、本園職員や児童相談所と連携し支援してきました。また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。高校生2名につきましては、自立へ向けた支援として、社会的養育自立支援業務を活用し、東海道シグマの方によるセミナーを定期的に受講しました。昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。例年同様に、地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事では主体的に参加しました。昨年度は休日と比較的自由な時間が持てる小学生年代が在籍していなかったこともあり、子ども達への招待が少なくなり、地域の方々との関わりも例年に比べ、少なかったように思います。子どもを通して地域との関わりが深まることを改めて実感しました。

### 【恩賜記念みどり園】

新型コロナウイルスによる感染症が日本全国に蔓延しつつある状況で、24時間365日稼働する入所型の施設ではウイルスの施設内侵入を予防するための対策構築に追われております。手洗い・うがい・手指消毒、出勤時の体温測定、外出時のマスク着用、面会制限などを徹底させておりますが、東京の乳児院で感染した職員から8名の入所児が施設内感染し、7名の職員が濃厚接触者として自宅待機をしているという報道に、乳児の命を預かる入所施設として、新規入所等の受け入れ時の感染防止対策の強化を図り、受け入れの制限をしなければならないこと、虐待等で行き場の無い子ども達の最後の砦というシレンマに苛まれている現状があります。幸いみどり園では11月以降はインフルエンザ等の感染症が入ってきていません。園で働く職員の努力の継続がこの状態を作ってくれています。しかし感染症は針の穴1つでも侵入すると言われてます。一日でも長く感染症が入ってこない状態が維持できるように職員にさらなる協力を求め、気力の継続を呼びかけたいと思います。

令和元年度は暫定定員24名で事業を実施致しました。年間の在籍児童数は、延べ人数で7,679名、年間の充足率は定員換算で70%、暫定定員24名では75%、前年度と比べて309名4.1%の増加がみられました。入所状況は、新規措置児童は平成30年度より1名増えて8名となりました。一時保護は平成30年度の16名から7名増えて23名の保護を行っていますが、延べ日数は551日と、前年の755日より204日も減少し、一時保護児の内14名は1ヶ月以内に家庭に帰され、1名一時保護後2時間で親族に引き取られています。3月末日の在籍児童は、入所児童20名、一時保護児童2名の22名で、暫定定員より2名の空きがある状態です。退所は6名、家庭復帰は1名で4名が施設変更、1名が親族里親に委託されました。富士市のショートステイは一時保護児童の増加で観察対応ができます。0歳児1件、4日間の受託に止まりました。また、令和元年度は2月下旬まで保護単価の設定が示されず、また、企業主導型小規模保育所運営や、分園型小規模施設建設に向けて人材確保等を行った結果、積立金等を26,800,000円程取り崩し、非常に厳しい運営を強いられましたが、職員の人材確保については、求人情報のホームページへの早期掲載や、就職フェアに積極的に参加したことで、次年度に向けた保育士2名と心理療法担当職員を兼務した児童指導員1名と、調理員2名を採用することができました。また、職員養成の園内研修・勉強会を看護師等が積極的に開催してくれたので、18企画延べ50回の研修会・勉強会が開催することができました。また、心肺蘇生や沐浴訓練用のダミーを購入して職員が個人的にいつでも復習できるように設備等の充実を図ることができました。一方、社会貢献事業の「買物送迎プロジェクト」は法人内施設の協力を得て、今泉の3地区で隔週2回実施できるようになり、実施回数は通算で57回(年度内53回)利用者は3月末で237名でした。買物中参加者の安心・安全を担保するための見守りスタッフの確保が今後の事業展開の核となりそうです。

### 【特別養護老人ホームみぎわ園】

令和元年度の事業報告にあたり、平成より令和に変わった年度末、世界を震撼させている「新型コロナウイルス感染症」の異常な状況下で介護保険業界でもつらい影響が出ています。特養部門では3月上旬からの面会制限、外部業者等の出入禁止、職員への不要外出等の自粛要請、在宅部門では利用時前の体温測定や家族状況の聴き取りなど、感染予防への強化が図られています。

各事業内容については、ここ数年来、入居基準介護度3以上の問題で医療的管理、入院治療などが増え、空床の増加などで特養収益に於いて影を落とす傾向でした。在宅系事業では通所介護、ショートステイは提供責任者、現場職員の頑張りもあって利用者の増加もあり、又冬季のインフルエンザ感染の影響もなく、居宅介護収益に明るく反映された一年でありました。令和2年度の介護保険改定の最終年に向けて、介護保険事業職員の給与改訂について法人内措置事業所職員との本俸の整合を図るべくH30年8月改正人事院勧告を基に、試算検討し営業実績等を加味した結果、R2年4月から新サリールスケールへの移行を決定しました。この通年の介護保険事業人材不足は、非常に深刻に感じている中、外国人技能実習生の雇用を試みてベトナム国ホーチミン市より看護師資格を持った優秀な2名の実習生採用を行い、これから日本の介護教育を通しての活躍と今後の人材確保に向けた事例となる事を期待しています。

開設後16年を迎えた建物及び設備の維持では、空調機のごく数年来の度重なる修繕費(年平均70~80万円)の支出、各所蛍光灯照明設備の維持費用、非常時における自家発電機設備の老朽化とこの有効性、本館加圧給水ポンプ、温水ボイラー設備の老朽化等での設備更新が急務であり、大規模な更新投資を行い、各機器、設備の刷新を図りました。結果として光熱費の削減(15~20%)、修繕費等ランニングコストの軽減が図られました。昨年暮れには、急遽隣地の土地購入がありこれの活用について、手狭な外来駐車場の拡張を進める等、次への安心と安定した維持・経費運用での整備を行いました。

# 令和元年度 社会福祉法人芙蓉会 決算報告

## 法人単位資金収支計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
<b>事業活動による収支</b>				
収入				
介護保険事業収入	724,759,000	724,165,813	593,187	
児童福祉事業収入	481,531,000	483,466,306	△ 1,935,306	
保育事業収入	10,000	10,000	0	
その他の事業収入	648,000	648,000	0	
借入金利息補助金収入	76,000	76,000	0	
通常経費寄附金収入	2,045,000	2,051,389	△ 6,389	
受取利息配当金収入	1,359,000	1,358,381	619	
その他の収入	14,836,000	14,451,408	384,592	
事業活動収入計(1)	1,225,264,000	1,226,227,297	△ 963,297	
人件費支出	885,289,000	860,435,540	4,853,460	
事業費支出	161,107,000	155,239,040	5,867,960	
事務費支出	120,657,000	115,826,843	4,830,157	
利用者負担軽減額	2,487,000	2,538,518	△ 51,518	
支払利息支出	1,659,000	1,659,309	△ 309	
その他の支出	6,888,000	6,511,135	376,865	
事業活動支出計(2)	1,188,987,000	1,142,210,385	46,776,615	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	67,177,000	84,016,912	△ 16,839,912	
収入				
施設整備等補助金収入	15,209,000	15,209,000	0	
施設整備等収入計(4)	15,209,000	15,209,000	0	
設備資金借入金元金償還支出	33,988,000	35,237,000	△ 1,249,000	
固定資産取得支出	107,226,000	106,573,202	652,798	
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	627,264	△ 627,264	
施設整備等支出計(5)	141,214,000	142,437,466	△ 1,223,466	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 126,005,000	△ 127,228,466	1,223,466	
長期貸付金回収収入	123,000	123,000	0	
積立資産取崩収入	67,657,000	67,143,606	513,394	
拠点区分間繰入金収入	31,969,000	0	31,969,000	
サービス区分間繰入金収入	500,000	0	500,000	
その他の活動収入計(7)	100,089,000	67,266,606	32,812,394	
積立資産支出	45,700,000	44,570,816	1,129,184	
拠点区分間繰入金支出	31,900,000	0	31,900,000	
サービス区分間繰入金支出	500,000	0	500,000	
その他の活動支出計(8)	78,100,000	44,590,816	33,509,184	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	21,989,000	22,677,790	△ 688,790	
予備費支出(10)	1,727,000	0	1,727,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)+(10)	△ 38,575,000	△ 20,533,764	△ 18,041,236	
前期末支払資金残高(12)	590,877,893	280,077,893	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	241,502,893	259,544,129	△ 18,041,236	

## 法人単位事業活動計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減
<b>サービス活動増減の部</b>			
収入			
介護保険事業収益	724,165,813	703,516,280	20,649,533
児童福祉事業収益	483,466,306	499,522,349	△ 16,055,943
保育事業収益	10,000	0	10,000
その他の事業収益	648,000	243,000	405,000
経常経費寄附金収益	2,051,389	1,200,350	851,039
サービス活動収益計(1)	1,210,341,508	1,204,481,879	5,859,629
人件費	870,023,074	843,562,942	26,460,132
事業費	152,564,480	158,607,581	△ 6,043,101
事務費	115,826,843	109,484,229	6,342,614
利用者負担軽減額	2,538,518	1,901,593	636,925
減価償却費	89,587,871	91,943,069	△ 2,355,198
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 47,911,886	△ 51,911,283	3,999,397
サービス活動費用計(2)	1,182,628,900	1,153,588,131	29,040,769
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	27,712,608	50,893,748	△ 23,181,140
借入金利息補助金収益	76,000	95,000	△ 19,000
受取利息配当金収益	1,358,381	1,450,327	△ 91,946
その他のサービス活動外収益	14,451,408	12,480,415	1,970,993
サービス活動外収益計(4)	15,885,789	14,025,742	1,860,047
支払利息	1,659,309	2,078,475	△ 419,166
その他のサービス活動外費用	6,511,135	7,095,488	△ 584,353
サービス活動費用計(5)	8,170,444	9,173,963	△ 1,003,519
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7,715,345	4,851,779	2,863,566
経常増減差額(7)=(3)+(6)	35,427,953	55,745,527	△ 20,317,574
施設整備等補助金収益	15,209,000	9,500,000	5,709,000
固定資産売却損	3	1	2
固定資産売却益	0	99,999	△ 99,999
その他の特別収益	358,534	499,380	△ 140,846
特別収益計(8)	15,567,537	10,999,380	4,568,157
固定資産売却損・処分益	555,192	14	555,178
国庫補助金等特別積立金取崩(除却等)	△ 131,006	0	△ 131,006
国庫補助金等特別積立金積立額	15,209,000	9,500,000	5,709,000
その他の特別損失	0	8,401,926	△ 8,401,926
特別費用計(9)	15,633,186	17,991,940	△ 2,358,754
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 65,649	△ 7,892,560	7,826,911
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	35,362,304	47,852,967	△ 12,490,663
前期末繰越活動増減差額(12)	565,953,107	577,463,494	△ 11,510,387
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	601,315,411	625,316,461	△ 24,001,050
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	66,805,406	6,259	66,799,147
その他の積立金積立額(16)	42,514,616	59,369,613	△ 16,854,997
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	625,606,201	565,953,107	59,653,094

## 財産目録

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位:円)

取得経路	場所	取得年度	至(目的)	取得価額	減価償却累計額	現在取得価額
<b>1. 建物</b>						
1-1 事務所						
現金	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
普通預金	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
未収金	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
固定資産	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	47,117,317
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	0
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	379,000
2017年度	現金	2017年度	事務所として	—	—	

